

安全衛生だより第4号	
平成30年4月10日発行	

1. 5月全国行事

1)ごみゼロの日	5月30日
2)ごみ減量化リサイクル推進週間	5月30日～6月5日
3)禁煙週間	5月31日～6月6日
2. 安全・衛生・防災の心得 : 連休前・中・後の安全健康心得
3. システム監査 良い事例(抜粋)
4. 事故・災害事例から : クレーンの吊り荷で頭を強打 物陰から急に頭を出した
5. ヒヤリハット事例 : フォークリフト使用時のパレット割れによるドラム缶の転倒

2. 安全・衛生・防災の心得 : 連休前・中・後の安全健康心得

心身のリズムを乱さない、乱されない

4月末から5月初旬にかけての大型連休は気候もよく、心身のリフレッシュには良い機会ですが、油断をすると職場や生活の中で思わぬトラブルに見舞われたりします。また、メンテナンス等でやむを得ず大型連休中に休日出勤となる人は、家族や社会など周りの影響で心身のリズムを乱される恐れがあります。お互いに、この期間の安全・衛生・防災管理には十分注意しましょう。

《連休前には》

- ・無人になる職場では、放火や盗難などが発生しないように戸締り・点検・対策を十分に
- ・仕事の後始末、整理・整頓・清掃は念入りに(特に自然発火の危険性があるものは注意)
- ・行楽などの計画は無理な工程を組まない

《連休期間中は》

- ・生活のリズムをくずさないよう気をつける
- ・車で遠出するときは車の点検・整備を確実に
- ・出勤日まで疲れを持ち越さないように

《連休が明けたら》

- ・気持ちを仕事にきちんと切り替える
- ・始業前ミーティング、KYT、体操は念入りに
- ・設備等の作業前点検はいつもより念入りに
- ・立ち上げ作業は、手順書に基づいて実施し、異常があれば作業を中止して上司等の指示を受ける
- ・部下や同僚の動きにも目を配り、不安全な行動等があれば注意・忠告する



3. システム監査 良い事例(抜粋)

①福山第二工場

局所集塵機による作業環境の改善



②新潟工場

蒸気圧力メーターの適正圧力表示



4. 事故・災害事例から ： クレーンの吊り荷で頭を強打 物陰から急に頭を出した

他社災害事例

(1)災害のあらまし

スチール製品の組立工場で、天井走行クレーンの運転者が組みあがった製品を塗装場に運搬中、クレーン走行路の下の製品の陰でかがんで作業を行っていた被災者が立ち上がったため、走行中の吊り荷で頭を強打し全治2週間の怪我を負いました。

(2)災害の主な原因と再発防止対策

①吊荷の高さは床から3m以上と決められていたが、守られなかったこと

対策→吊荷高さを常に安全な高さに習慣化する(TBM喚起、高さ下限の表示等)

②クレーン運転者が運転前並びに運転中に走行路下の状態をよく確認していなかったこと

対策→確認の徹底と走行路下区分を明確にして、他の者が不用意に立ち入れないようにする

③被災者が運転中のクレーン走行路下で作業を行っていたこと

対策→クレーン運転時の走行路下での作業を禁止する

④クレーンの操作者や被災者が危険を予知して行動しなかったこと

対策→クレーン等の機械の運転や作業行動の際は、常に危険を予知して行動するよう習慣化する

(3)環境安全部から

重量物のクレーンによる運搬は、当社内では加工工場や製造工場で行われています。このような事故を防止するには基本的にクレーン走行路下の立ち入りや作業を禁止することが最も有効ですが、スペースその他の制約から必ずしもそうならないのが現状だと思われます。上記のようなルール の 順守とTBMや表示による危険性の喚起を組み合わせるなど事業場に有効な防止対策を講じて下さい。

5. ヒヤリハット事例 ： ゴム手袋の破損

事例	フォークリフト使用時のパレット割れによるドラム缶の転倒
どこで	製造工場内で
あらまし	木製パレットに積んであるドラム缶をフォークリフトで運搬する際、リフト爪がパレットに浅くしか入っていなかったためパレットが割れてドラム缶が転倒しそうになった
原因	フォークリフト爪のパレットへの入り具合の確認不足
教訓・対策	フォークリフト使用時は爪によるパレットの保持を確実にを行う